

サステナビリティ基本方針 ～Act Now for a Sustainable Future～

我々は、企業理念「共存共栄/Dream Together」・企業の永続的発展と持続可能な社会の実現のために、人権や環境などに関する社会課題に適切な統治の下に取り組んで参ります。

1. 本方針に関するガバナンス

本方針に関わる取り組みについては、トップマネジメントが責任を持って指導・監督を行う。

2. マテリアリティの特定

企業理念実現に向けた事業活動上のマテリアリティを特定する。特定したマテリアリティを経営計画に反映し課題解決に取り組む。

3. 社会に対する取り組み

人権の尊重を経営の最重要課題のひとつとして捉え、公正・公平な事業活動を行う。

4. 環境に対する取り組み

地球環境の保全が人類共通の最優先課題のひとつであることを認識し、環境に関する法規制を遵守するとともに気候変動、水資源、生物多様性などに配慮した事業活動を行う。

5. 教育、情報開示

本方針が組み込まれた事業活動が推進されるために、社員に対し適切な教育を行う。
また、非財務情報の適切な開示を行う。

2025年7月制定

C B C 株式会社 代表取締役社長

土井正太郎

環境方針

私たち CBC グループは、企業理念「共存共栄/Dream Together」を実現していくうえで、地球環境の保全が人類共通の最優先課題の一つであることを認識すると共に、ここに環境方針を定め、本方針に従い、環境保全の取り組みを推進し、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

1. 本方針に関わるガバナンス

本方針に関わる取り組みについては、トップマネジメントが責任を持って監督し、CBC グループ全体で実行します。

2. 適用範囲

本方針は CBC グループの全ての役員及び社員に適用されます。

また、CBC グループの事業活動のバリューチェーン上にあるすべてのステークホルダーが本方針に沿った環境保全の取り組みを実践頂くことを期待します。

3. 環境法規制の遵守及び汚染の予防

私たちは、環境関連の法律、規制、協定などを遵守し、環境の保全並びに廃棄物の削減と汚染の予防に努めます。

4. 気候変動、循環型社会、水資源、生物多様性、化学物質管理の推進

私たちは、カーボンニュートラルをはじめとする気候変動への対応、循環型社会の形成、水資源の保全、生物多様性への配慮、化学物質の適正な管理を推進し、地球環境の保全に努めます。

5. 環境マネジメント・システムの構築及び継続的改善

私たちは、環境方針に基づいた環境目標を設定し、目標達成のための環境マネジメント・システムを構築のうえこれを実施し、更に継続的改善に努めます。

6. 教育と開示

私たちは、本方針が事業活動に組み込まれ、実行されるよう社員に適切な教育を実施します。

また、環境保全の取り組みに関する情報を適切に開示します。

2025 年 7 月制定

C B C 株式会社 代表取締役社長

土井正太郎

人権方針

私たち CBC グループは、企業理念「共存共栄/Dream Together」を実現していくうえで、人権の尊重は最重要課題のひとつであると認識すると共に、ここに CBC 人権方針を定め、本方針に従い、人権尊重の取り組みを推進し、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

1. 本方針に関わるガバナンス

本方針に関わる取り組みについては、トップマネジメントが責任を持って監督し、CBC グループ全体で実行します。

2. 本方針の適用範囲

本方針は CBC グループの全ての役員及び社員に適用されます。

また、CBC グループの事業活動のバリューチェーン上にあるすべての関係者が本方針に沿った人権尊重の取り組みを実践頂くことを期待します。

3. 人権の尊重

私たちは、『国際人権章典』『労働における基本原則及び権利に関する ILO 宣言』などで国際的に認められた人権を尊重し、『ビジネスと人権に関する指導原則』に基づき人権尊重の取り組みを推進していきます。

また、事業活動を行うそれぞれの国や地域の法令を遵守します。国際的に認められた人権と事業活動を行う国や地域の法令との間に矛盾がある場合は、国際的に認められた人権を最大限尊重する方法を追求します。

私たちの事業活動において発生しうる人権課題の中から特に重要な人権課題を定め、その課題の解決に取り組みます。

4. 人権及びダイバーシティ

私たちは、人種・性別・民族・宗教・国籍・年齢等事由の如何を問わず、不当な差別・ハラスメントを行いません。また、一切の人身売買への関与及び強制労働や児童労働を行わず、あらゆる人権侵害に加担しません。労働条件・労働環境等に関してバリューチェーン上のすべての労働者の権利を尊重します。

5. 人権デューデリジェンスに関する取り組み

私たちは、事業活動における人権への負の影響を特定、評価、防止、軽減する人権デューデリジェンスの仕組みを構築し、継続的に実施します。

6. 是正・救済、ステークホルダーとの対話

私たちは、人権に対する負の影響を引き起こした、又は負の影響を助長した事象が明らかになった場合、適切な手段を通じてその是正に取り組みます。

また、ステークホルダーと対話や協議を行い、人権への負の影響を受けた場合の相談や通報を受け付ける窓口の設置及びその適切な運用に努めます。

7. 教育、開示について

私たちは、本方針が事業活動に組み込まれ、実行されるよう社員に適切な教育を実施します。

また、人権尊重の取り組みに関する情報を適切に開示します。

2025年7月制定

C B C 株式会社 代表取締役社長

土井正太郎

調達方針

私たち CBC グループは、企業理念「共存共栄/Dream Together」を実現するために定めたサステナビリティ基本方針及び人権方針・環境方針に基づき、ここに調達方針を定め、サプライチェーン全体に本方針を共有し、公正公平な取引を通じて持続可能な社会の実現に貢献していきます。

1. ガバナンス

本方針に関わる取り組みについては、トップマネジメントが責任を持って監督し、CBC グループ全体で実行します。

2. 適用範囲

本方針は CBC グループの全ての役員及び社員に適用されます。

また、CBC グループの事業活動のバリューチェーン上にあるすべての関係者が本方針に沿った取り組みを実践頂くことを期待します。

3. 人権及びダイバーシティ

私たちは、人種・性別・民族・宗教・国籍・年齢等事由の如何を問わず、不当な差別・ハラスメントを行いません。また、一切の人身売買への関与及び強制労働や児童労働を行わず、あらゆる人権侵害に加担しません。労働条件・労働環境等に関してバリューチェーン上のすべての従業員の権利を尊重します。

4. 法令順守及び社会規範

私たちは、関連する内外の法規制を遵守し、公正な取引の維持と腐敗防止に努め、社会規範に則り、一切の反社会的勢力と関わりません。

5. 安全管理とサービス

私たちは、社員と地域社会の為の環境保全と安全を最優先とし、環境に配慮した品質の高い製品及びサービスを提供します。

6. 紛争鉱物

私たちは、持続可能かつ責任ある資源及び鉱物調達を実施します。

7. 情報管理

私たちは、特許・商標等の知的財産権の侵害をせず、業務上取り扱うすべての情報についてプライバシー保護や漏洩防止に細心の注意を払い適切に管理します。

8. 環境管理

地球環境の保全のため、気候変動・生物多様性・環境汚染等の環境問題に対応し、エネルギー・水・資源の使用量、温室効果ガス・廃棄物の削減に努めます。

2025 年 7 月制定

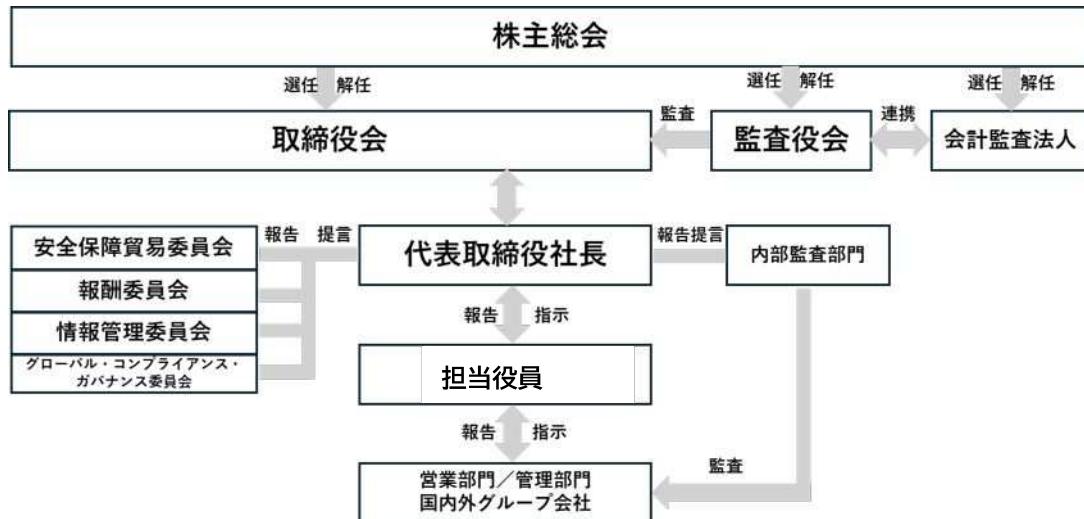
C B C 株式会社 代表取締役社長

土井正太郎

ガバナンス方針

私たち CBC グループは、企業理念「共存共栄/Dream Together」を実現していくうえで、公正かつ透明性のあるガバナンス体制の構築が重要であること認識し、ここにガバナンス方針を定め、自律的かつ健全な企業運営を行います。

1. ガバナンス体制



2. 各組織の役割

各組織は機能の向上、リスク管理体制の強化、コンプライアンス意識の向上、経営の健全性の維持に努めます。また、経営上の重要事項に関しては、環境・社会、ステークホルダーにも配慮した審議を行います。

・取締役会の役割

当社グループの持続的成長と中長期的な企業価値向上に向けて、モニタリング機能を有し、経営の監督を行うとともに、経営上の重要事項について意思決定を行います。

・監査役会の役割

取締役会から独立した立場で、取締役の職務の執行の監査をはじめ法令等に定められた事項を実施するとともに、その活動を通じて実効性のあるガバナンス体制の構築に努めます。監査が適正に行われるよう、会計監査人と連携するとともに、会計監査人の選任及び評価は適切な基準に基づいて行います。

・各委員会とそれに準ずる会議体の役割

トップマネジメントによる監督のもと組織内での課題解決に努めます。また、その活動内容を定期的に経営層に報告します。

2025年7月制定

CBC 株式会社 代表取締役社長

土井正太郎

コンプライアンス基本方針

私たち CBC グループは、企業理念「共存共栄/Dream Together」を実現するために定めた行動規範とサステナビリティ基本方針に基づき、役員と社員のコンプライアンスの実践は経営における最重要課題であると捉え、ここにコンプライアンス基本方針を定めます。

1. ガバナンス

本方針に関わる取り組みについては、トップマネジメントが責任を持って監督し、CBC グループ全体で実行します。

2. 適用範囲

本方針は、CBC グループのすべての役員と社員を対象とします。

また、CBC グループの事業活動のバリューチェーン上にあるすべての関係者が本方針に沿った取り組みを実践頂くことを期待します。

3. コンプライアンス最優先

利益とコンプライアンスが相反するときは、迷わずコンプライアンスを優先します。

4. 法令順守、社会規範

法令遵守はもとより、社会規範に則った誠実かつ適法で公正な責任ある事業活動を行ない、一切の反社会勢力と関係を持ちません。

5. ステークホルダー、職場環境

取引先、消費者、社員の利益を尊重するとともに社会からの信頼を確保し良好な関係を維持し、健全な職場環境と豊かで快適な社会の実現に貢献します。

6. 人権、DEI、ハラスメント

事業活動を行なうにあたっては、人権及び各国・各地域の文化と習慣を尊重し、不当な差別・ハラスメントを排除します。

7. 情報開示

本方針に関するすべての事象はトップマネジメントに報告され、社員に対する周知とともに適切な開示を行います。

2025 年 7 月制定

C B C 株式会社 代表取締役社長

土井正太郎

情報管理基本方針

私たち CBC グループは、企業理念「共存共栄/Dream Together」を実現していくうえで、保有する情報資産を適切に管理することでお客様の信頼に答える必要性を深く認識しています。情報管理を適切に実施するため、基本方針をここに定めます。

1. ガバナンス

本方針に関わる取り組みについては、トップマネジメントが責任を持って管理し、CBC グループ全体で実行します。情報管理の推進にあたっては、個人情報の保護、情報資産の管理及び情報セキュリティの確保を重要な経営課題として位置づけ、継続的な監督及び改善を行います。

2. 適用範囲

本方針は CBC グループの情報資産を利用する全ての役員及び社員に適用されます。
管理すべき情報資産は、電子化情報、文書等及び物品を含むものとします。

3. 管理体制

情報管理の推進と維持、確保するための組織体制として、CBC 株式会社本社内に情報管理委員会を設置します。情報管理委員会は、経営層から選出された委員長と管理部門から選出された委員で構成され、代表取締役社長が任命します。

4. 情報管理の実施

私たちの管理下にある重要な情報資産は、非常に価値が高い、経営資源の1つです。その一方で、ビジネスを脅かす攻撃と漏えい等は避けることのできない経営リスクとなっており、適切且つ速やかに対応することが求められています。今後想定される新たなリスクへの対応や、サービスや製品を安心してお客様に提供することが社会的責務であり、保有している全ての個人情報を含む情報資産に対して、組織的、人的、技術的及び物理的な情報管理・セキュリティ対策を実施します。

5. 法規制等遵守と社内ルールの周知徹底

私たちは、個人情報その他情報資産に関する法令、規制及び契約上の要求事項を遵守し、適切に管理するための体制を整備し、役員及び社員に対する教育や訓練を実施します。また、関連法令や社内ルールの違反に対しては、厳正に対処します。

6. 改善

私たちは、個人情報の保護、情報資産管理及び情報セキュリティに関する施策を定期的に見直し、継続的に情報管理体制の強化、改善に努めます。

2025年7月制定

CBC 株式会社 代表取締役社長

土井正太郎